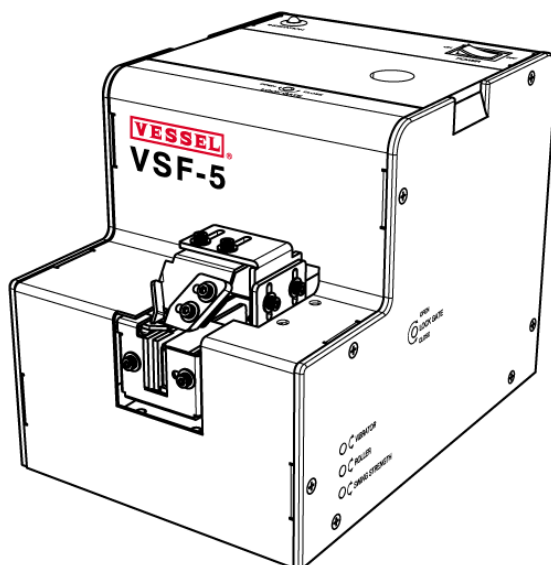


ネジ供給機

—取扱説明書—

No.VSF-5



○ご使用前に、この取扱説明書をお読みください。

○お読みになった後はいつでも参照できるように大切に保管してください。



目次




●安全にお使いいただくために	2
●製品の特長	3
●製品の仕様	4
●外観図	5
●各部名称と機能	6
●ご使用前に	7
●運転	17
●保守・点検	20
●異常時の処置	22
●保管	23
●保証書	24







■安全にお使いいただくために

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、危険の大きさにより次の2段階に区分して表示しています。

 警告	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
 注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される場合

	この記号は、「警告や注意」を促す内容です。
	この記号は、行為を「禁止」する内容です。
	この記号は、行為を「強制」する内容です。

 注意	
 禁止	急激に温度変化する環境や結露する場所では使用しないでください。故障のおそれがあります。
 水濡禁止	水、油、溶剤がかかるような場所や湿気の多い場所で使用しないでください。感電や故障のおそれがあります。
 禁止	仕様に示された電源の規格以外で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
 禁止	本書を理解できるまでは、製品の設置、使用、保守をしないでください。
 必ず守る	本書は簡単に参照できるように、製品のそばに保管してください。

本製品は、ドラムでネジをすくい上げ、レールで整列させ、振動でネジを水平に送りだし、ドライバービットでネジを一本ずつ取出すための装置です。

特長

- コンパクトサイズ。

126 × 182mm(B5 の約半分)の面積で設置ができ、場所をとりません。

- M1 から M5 までの様々なネジに対応します。

- ネジサイズの変更のために必要な交換部品が付属しています。

本体上面のフタが収納ケースとなって、スペーサーと工具が中に入っています。

収納ケースはマグネットで本体にしっかり固定され、紛失防止になります。

- ネジ供給センサーつき。

ドラム回転や振動はネジ供給に必要なときだけ運転するので、消費電力を抑えます。

- ネジをレールに整列させ送り出す構造なので、ネジの供給が滞ることはありません。

皿ネジ、ナベ頭ネジ、トラスネジ、ワッシャーヘッドなどの供給が可能です。



※ただし、座金組み込みネジは使用できません。

左; ワッシャーヘッドネジ 右; 座金組み込みネジ

動画のご案内

調整手順の動画を以下のWEBサイトでご覧いただけます。

<http://www.vessel.co.jp/html/info/movie-ve.html>



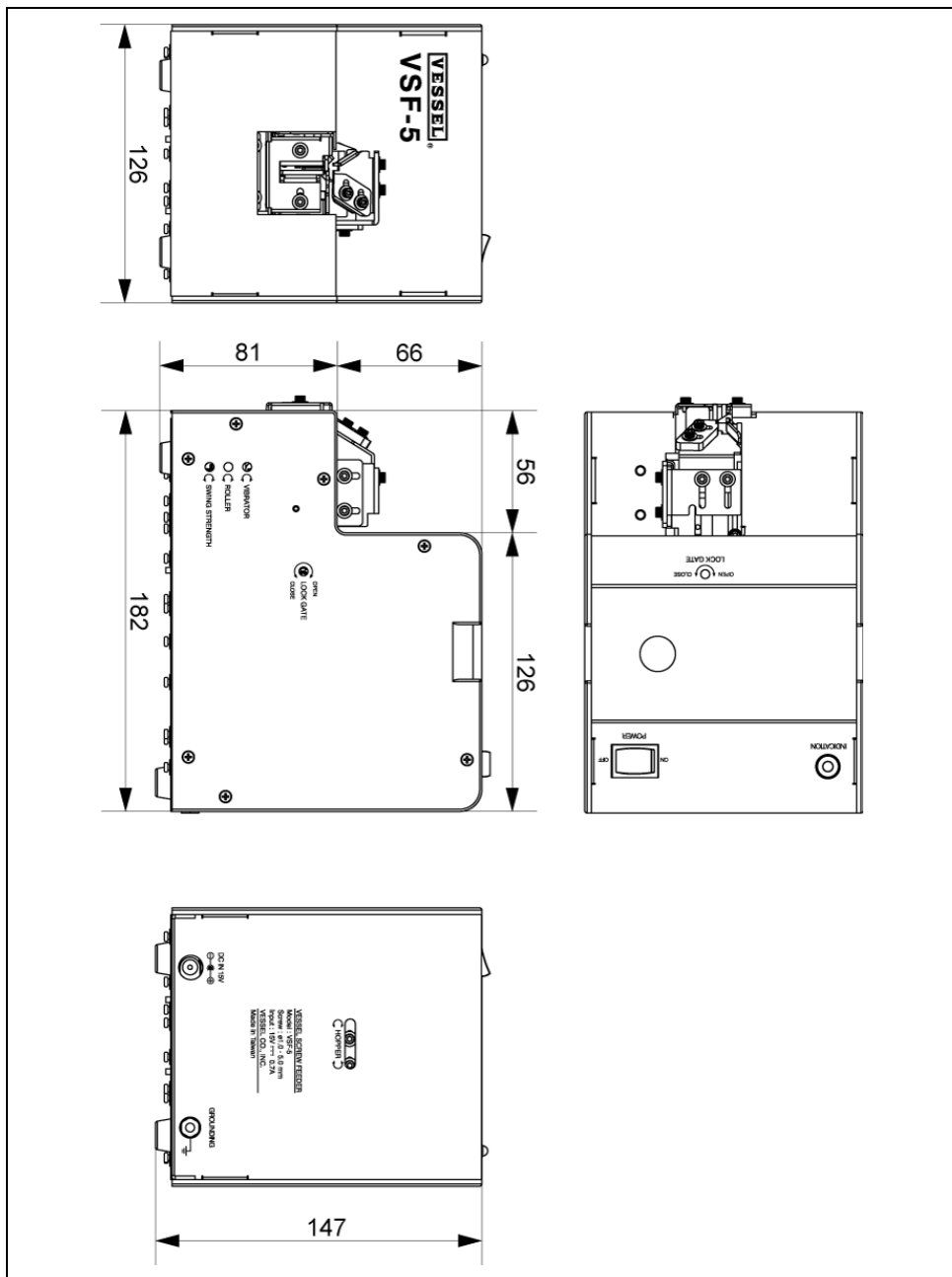
■製品の仕様

仕様

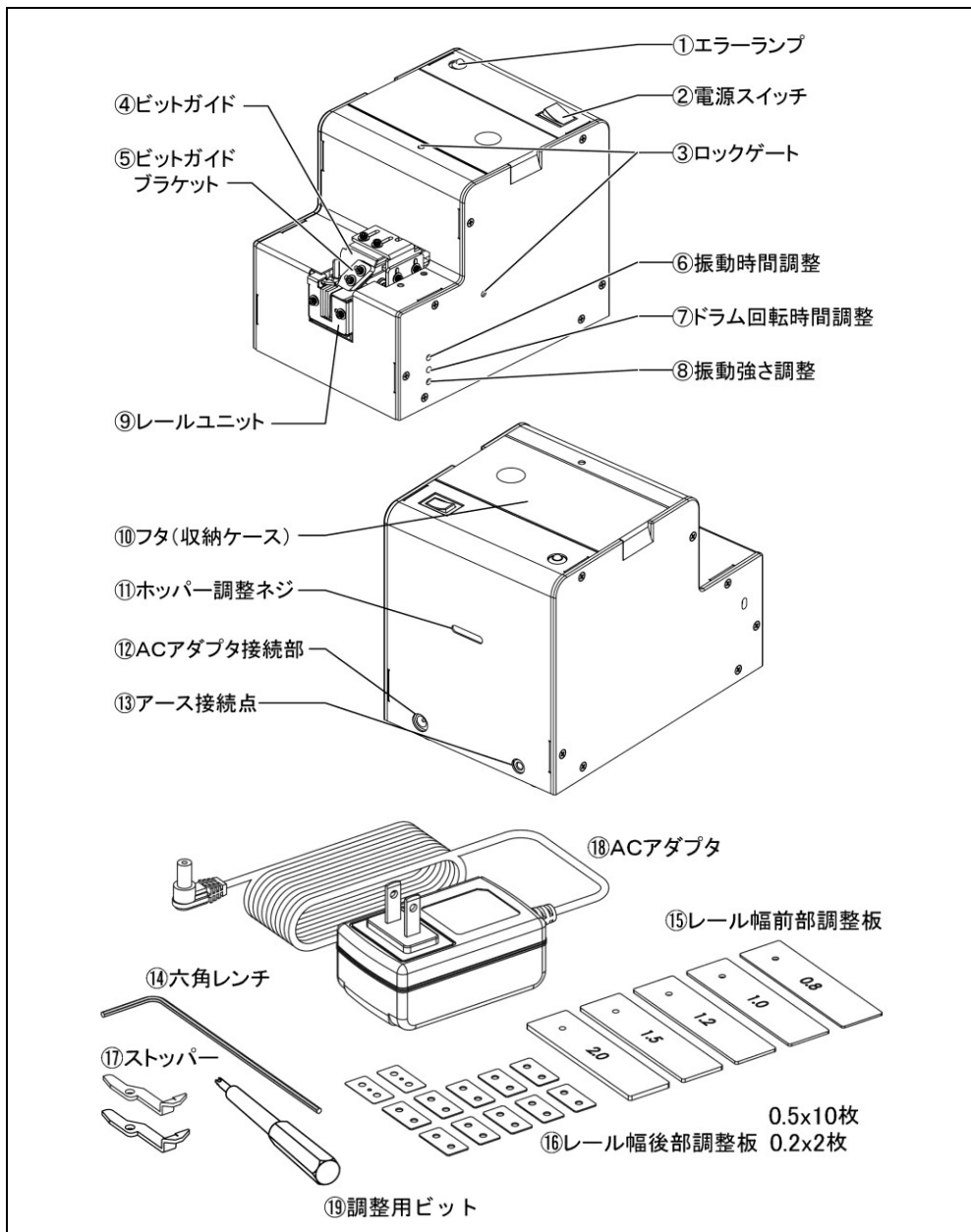
型式	: VSF-5
入力電圧・電流	: DC15V±5% 0.7A
適用ネジサイズ	: 呼び径M1.0～M5.0 ネジ長さL 最大 20mm
ネジ容量	: 最大 200cc
幅×奥行×高さ	: 126×182×147mm(突起部含まず)
重量	: 2.2kg(付属品除く)
使用温度・湿度	: 0～40℃ 10～95%RH (ただし結露のないこと)
設置場所	: 屋内
材質	: 金属、樹脂

付属品

ACアダプタ	
型式	: AD15-VSF
定格入力電圧	: AC100-240V(50/60Hz) 0.8A
定格出力電圧	: DC15V 1.5A
使用温度・湿度	: 0～40℃ 10～95%RH (ただし結露のないこと)
コード長さ	: コード 約 1.8m
重量	: 136g
L型六角レンチ	H2.0mm
ストッパー	M1.0 ～ 2.0 用 1 個、M2.0 より大きいネジ ～ M5.0 用 1 個
レール幅前部調整板	70×90× <u>t0.8</u> mm、 <u>t1.0</u> mm、 <u>t1.2</u> mm、 <u>t1.5</u> mm、 <u>t2.0</u> mm 各 1 枚
レール幅後部調整板	20×10× <u>t0.2</u> mm 2 枚、20×10× <u>t0.5</u> mm 10 枚
調整用ビット	
アース線	
取扱説明書	



■各部名称と機能




※工場出荷時にはストッパー(小)、レール幅後部調整板(0.2mm×2枚、0.5mm×3枚)がレールユニットに組み込まれています。

■ 各部名称と機能

各部名称と機能

名称	表示	機能の説明
①エラーランプ	INDICATION	エラー発生時にランプが点灯します
②電源スイッチ	POWER	本機の電源を ON/OFF するスイッチです
③ロックゲート	LOCK GATE	ネジ収納部から本体内へのネジの侵入を防ぎます
④ビットガイド		ビットをネジ頭に導くガイドです
⑤ビットガイドブラケット		ビットの径にあわせて調整する部品です
⑥振動時間調整	VIBRATOR	ネジを送り出す振動の継続時間を設定します
⑦ドラム回転時間調整	ROLLER	ネジを拾い上げるドラムの継続時間を設定します
⑧振動強さ調整	SWING STRENGTH	レール上のネジを送る振動強さを調整します。
⑨レールユニット		振動でネジを送り出すレールのアッセンブリです
⑩フタ(収納ケース)		レール幅の調整板やレンチの収納ボックスです
⑪ホッパー調整ネジ	HOPPER	ネジをレールに供給するホッパーの位置調整です
⑫AC アダプタ接続部	DC IN 15V	専用ACアダプタの接続端子です
⑬アース接続点	GROUNDING	アース接続の端子です
⑭六角レンチ		対辺 2mm の六角レンチです
⑮レール幅前部調整板		レールの幅の調整に重ねて使う金属板です (5 枚)
⑯レール幅後部調整板		レールの幅の調整に重ねて使う金属板です (12 枚)
⑰ストッパー		ネジを決まった位置で止めるガイドです (2 枚)
⑱AC アダプタ		本機専用の AC アダプタです
⑲調整用ビット		本体右横にある調整部を回す専用ビットです

■ ご使用の前に

 注意	
● 必ず守る	必ず付属のACアダプタを使用してください。
⊘ 禁止	レールを挿入していない状態で、電源を入れないでください。
● 必ず守る	異常が見られたときは直ちに使用を中止してください。
⊘ 禁止	製品を改造、分解しないでください。

設置場所

本製品の性能を正しく維持するため、水平で安定した場所に設置してください。
傾いた場所(不安定な場所)に設置しますと、正常な運転・動作に影響します。

■ご使用前に

調整

本製品は、出荷時に M1.7 のネジにあわせて調整しております。

- | | | |
|----------------|---|--------------------------------------|
| 1) ネジサイズ確認 | ⇒ | ご使用のネジの各部サイズを測り、確認します。 |
| 2) カバーを外す | ⇒ | 調整しやすくする為に外側のカバーを外します。 |
| 3) レールの取出し | ⇒ | ネジにあった調整をおこなうため、レールユニットを取外します。 |
| 4) ストッパーの交換 | ⇒ | 供給ネジが停止する位置を決めるストッパーの交換です。 |
| 5) レール幅の調整 | ⇒ | ネジの呼び径にあわせてレール幅の調整です。 |
| 6) レールの取付け | ⇒ | 調整をおこなったレールユニットを本体に取付けます。 |
| 7) ホッパーの調整 | ⇒ | ネジをレールに流し込むホッパーの位置を調整します。 |
| 8) ブラシの調整 | ⇒ | レールに正しく入っていないネジを払い落とすブラシを調整します。 |
| 9) ネジ頭押さえ板の調整 | ⇒ | 重なりなくネジを整列させるために、板の高さの調整をします。 |
| 10) ビットガイドの調整 | ⇒ | ビットをネジの位置へ正しく誘導するための調整をします。 |
| 11) センサーの調整 | ⇒ | ストッパー位置のネジの有無をセンサーで検知するよう調整します。 |
| 12) F 型センサーの調整 | ⇒ | ストッパー位置からネジが取りだせたかをセンサーで検知するよう調整します。 |

1)ネジサイズの確認

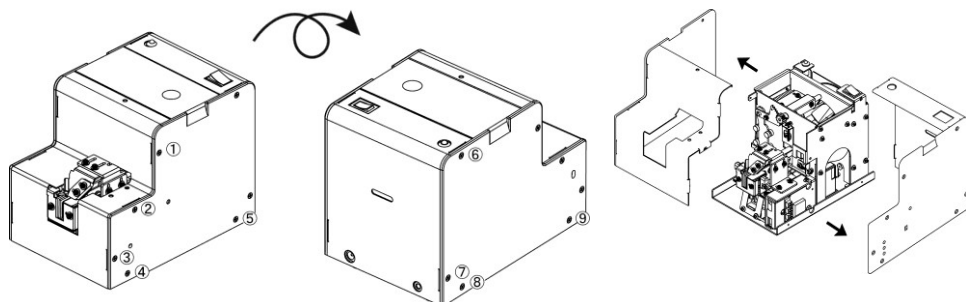
ノギスなどで、ご使用のネジの実際の寸法を測ってください。

- a ネジ頭径
- b ネジ頭厚み
- c ネジ部の長さ
- d ネジ呼び径
- e ネジの長さ



2)カバーを外す

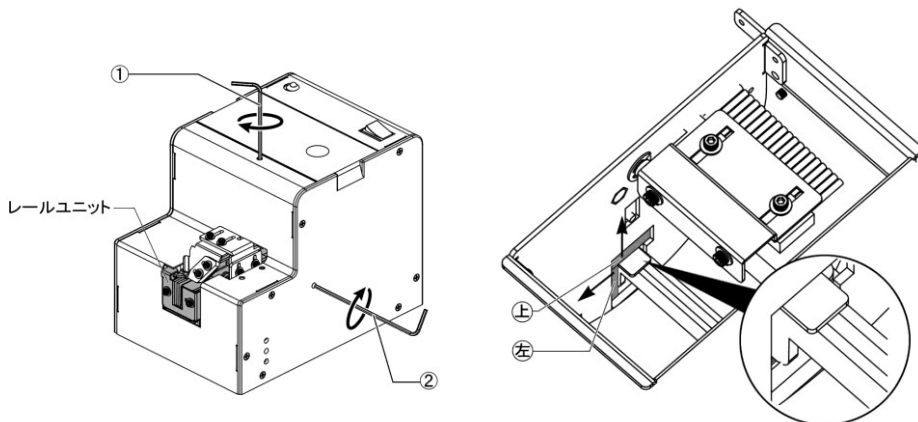
ネジは全部で 16 カ所あり、すべて外すとカバーを取外すことはできますが、下記図の①～⑨のネジを外すと簡単に取付け、取外しができます。



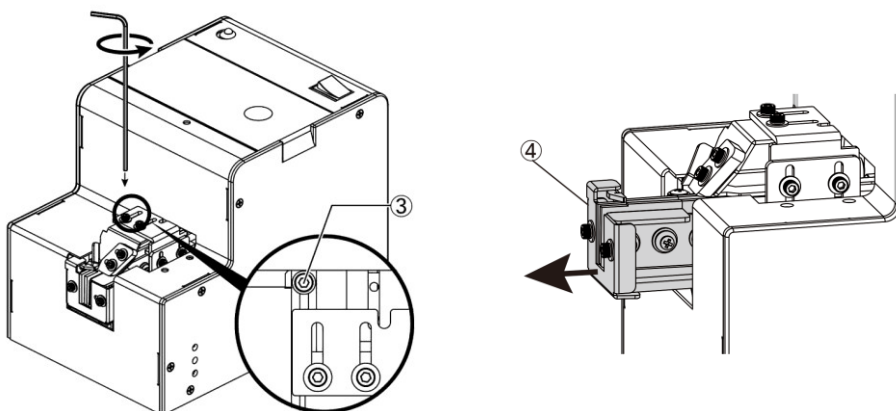
※調整は本体カバーを外しておこないますが、本取説はカバーを付けた状態で説明します。

3) レールユニットの取出

- ① 付属の六角レンチで本体上部の“LOCK GATE”のネジを時計回りに回し、内部のゲートⒶを開きます。
- ② 同様に、本体右側の“LOCK GATE”のネジを時計回りに回し、内部のゲートⒷを開きます。



- ③ レール左奥の“レール固定ネジ”を緩めます。
※固定ネジが外れないように注意してください。
- ④ 本体より“レールユニット”を抜き出します。



■ご使用前に

4) ストッパーの交換

ストッパーは、ネジ呼び径にあわせて交換が必要です。

ストッパーは、

M1.0～M2.0 用(爪が小さい方)と、

M2.0 より大きいネジ～M5.0 用(爪が大きい方)

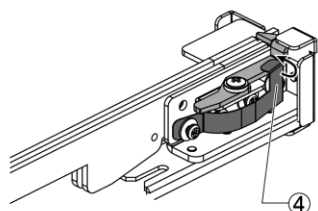
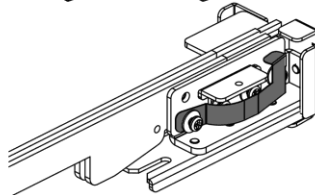
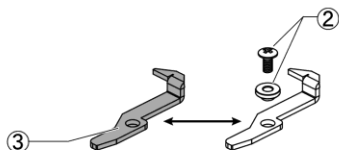
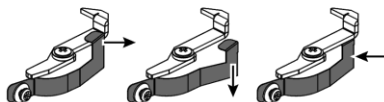
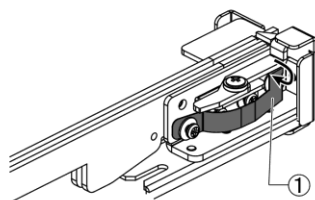
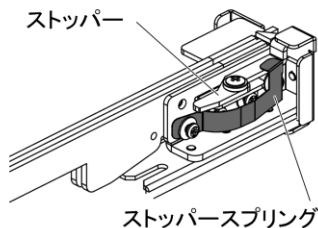
の 2 種類があります。



工場出荷時は、

M1.7 のネジにあわせて、M1.0～M2.0 用ストッパー
が取付けてあります。

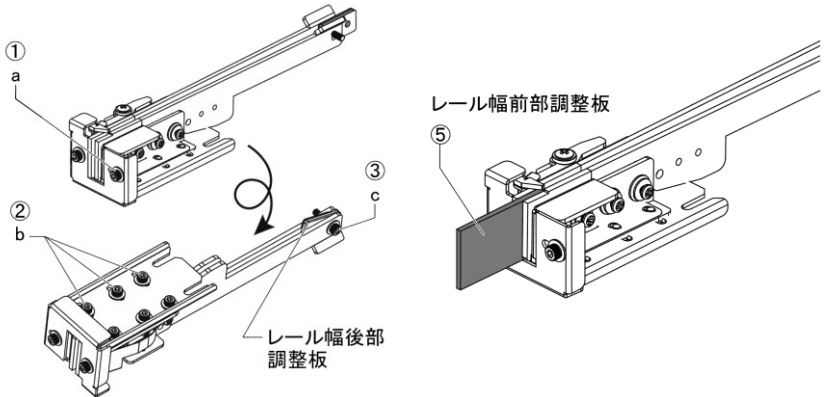
- ① “ストッパースプリング”を開いて、スプリングをストッパーの下に入れます。
- ② “ストッパー固定ネジ”を外し“スペーサー(黒色)”を一緒に取外します。
- ③ ネジ呼び径に合った“ストッパー”を取付け、元の位置に取付けます。
- ④ スプリングをストッパーの上にもどします。



5) レール幅の調整

レール幅は、ネジの呼び径にあわせて調整が必要です。

- ①(a)のネジ(正面から右側)を緩めます。
- ②下図のようにレールを裏返して、右側3ヶ所(b)のネジを緩めます。
- ③(c)のネジを外し“レール幅後部調整板”を抜き出します。
- ④下記の【調整板組合せ表 1】を参考に、使用するネジの呼び径にあわせて“レール幅前部調整板”を必要枚数用意します。
- ⑤用意した調整板を挟みこみ、ネジを(a)、(b)の順で締めます。
ネジを締めた後に、調整板を引き抜きます。



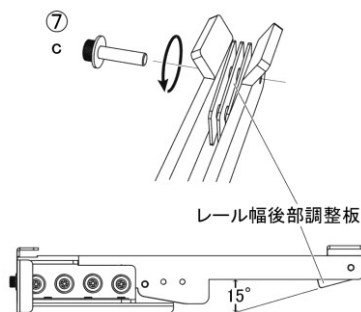
【調整板組合せ表 1】		ネジの呼び径 d	レール幅前部調整板(mm)
ネジの呼び径 d	レール幅前部調整板(mm)	M2.3	1.0 + 1.5
M1.0	1.2	M2.6	1.2 + 1.5
M1.2	1.5	M3.0	1.2 + 2.0
M1.4	1.5	M3.5	1.0 + 1.2 + 1.5
M1.7	0.8 + 1.0	M4.0	1.0 + 1.2 + 2.0
M2.0	1.0 + 1.2	M5.0	0.8 + 1.0 + 1.5 + 2.0

■ご使用の前に

⑥下記の【調整板組合せ表 2】を参考に、使用するネジの呼び径にあわせて“レール幅後部調整板”を必要枚数用意します。

⑦右図のように、用意した調整板を約 15° 傾けて挟みこみ、ネジ(c)を締めます。

※調整終了後、ご使用のネジがレール上をスムーズに滑って動くか確認してください。



【調整板組合せ表2】		ネジ呼び径 d	レール幅後部調整板(mm)
ネジ呼び径 d	レール幅後部調整板(mm)	M2.3	$0.2 \times 2 + 0.5 \times 4 = 2.4$
M1.0	$0.2 + 0.5 \times 2 = 1.2$	M2.6	$0.2 + 0.5 \times 5 = 2.7$
M1.2	$0.2 \times 2 + 0.5 \times 2 = 1.4$	M3.0	$0.2 + 0.5 \times 6 = 3.2$
M1.4	$0.5 \times 3 = 1.5$	M3.5	$0.2 + 0.5 \times 7 = 3.7$
M1.7	$0.2 \times 2 + 0.5 \times 3 = 1.9$	M4.0	$0.2 + 0.5 \times 8 = 4.2$
M2.0	$0.2 + 0.5 \times 4 = 2.2$	M5.0	$0.2 + 0.5 \times 10 = 5.2$

※レール幅後部調整板に穴が2カ所空いている板が0.5mm、3カ所空いている板が0.2mmの調整板です。



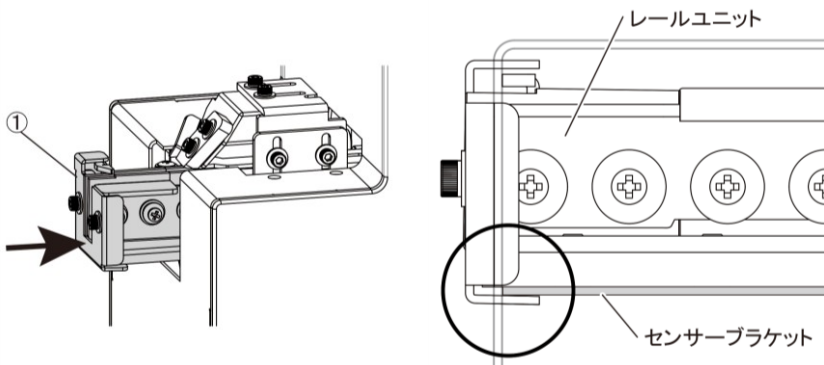
6) レールの取付け

①“レールユニット”を本体へ戻します。

※挿入する前に、全てのネジが正しく締まっているか確認してください。

※挿入時、レールユニットがセンサーブラケットの上に乗り上げないように注意してください。

※レールユニットが奥まで入らない場合、ホッパーに接触している可能性があります。

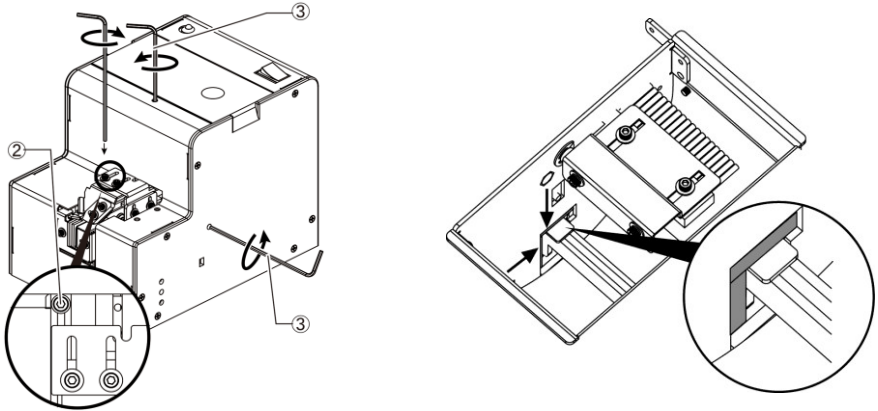


②“レール固定ネジ”を締めて、レールユニットを固定します。

※レールユニットと本体との隙間が左右同じになるよう取付けてください。

③本体上部と右側の2ヶ所の“LOCK GATE”を反時計回りに回し閉めます。

※振動による接触を防ぐため、完全に閉めずに隙間を 0.2~0.3mm 開けてください。



7) ホッパーの調整

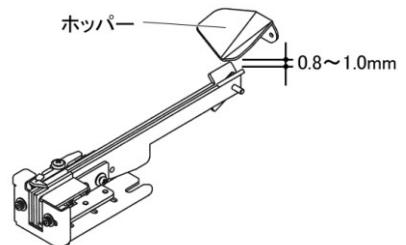
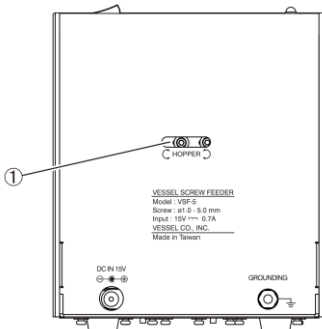
ホッパーは、ネジ呼び径にあわせて調整が必要です。

①付属の六角レンチで、本体背面にある“HOPPER”の左右2つのネジを緩めて、指でホッパーがレールの中心にくるよう調整します。

②ホッパーとレール後部の間に 0.8~1.0mm の隙間があるか確認してください。

※ホッパーがレール後部に接触すると振動が大きくなり、本機の故障につながります。

③調整後、HOPPER の左右2つのネジを締めます。

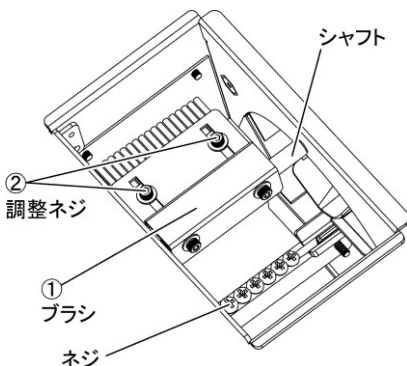


■ご使用前に

8) ブラシの調整

ブラシは、ネジ頭厚みにあわせて調整が必要です。

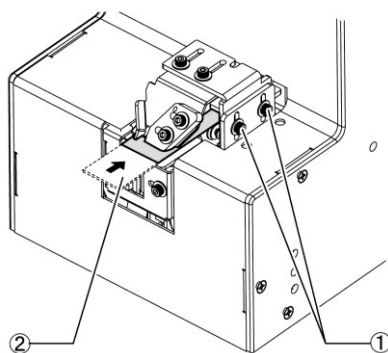
- ①電源を入れ一度ブラシをスイングさせ、“調整ネジ”が上面を向いた状態にして電源を切ります。
- ②レール滑走面にネジが 5～10 個程度入っている状態で、2つの調整ネジを緩めてブラシの位置を調整します。
※ブラシを手でスイングさせて、毛先がネジ頭部になでる程度当たる高さに調節してください。
※手でスイングさせる時、振れる範囲を超えて無理に回転させないでください。
※ブラシがネジ頭部に強く接触しないように調整してください。
※ブラシはレールの傾斜に合わせた植毛をしています。必ず毛先とレールが平行になるよう取付けてください。
- ③調整後、ブラシがスムーズに回転するか再度手でスイングさせて確認してください。
- ④2つの調整ネジを締めます。



9) ネジ頭押さえ板の調整

ネジ頭押さえ板は、ネジ頭厚みにあわせて調整が必要です。

- ①右図のように、2つのネジを緩めて、“ネジ頭押さえ板”の高さ調整をします。
- ②右図のように、開口部にレール幅前部調整板を挿入して隙間を確保し、ネジを締めます。ネジを締め付け後に、調整板を引き抜きます。
※調整板は、ネジ頭部厚みに $0.1 \sim 0.5\text{mm}$ ぐわえた厚み分を用意してください。
調整例: ネジ頭部厚み 1.5mm の場合...
レール幅前部調整板 $(1.0+0.8)\text{mm}$ を使用して、隙間を確認します。
※レールとネジ頭押さえ板が平行になっていることを確認してください。
※調整板がストッパーを挟んでいないか確認してください。



10) ビットガイドの調整

ビットガイドの位置は、ネジ頭にあわせて調整する必要があります。

ビットガイドブラケットは、ビットの軸径にあわせて調整する必要があります。

①電源を入れ、ご使用のネジを“ストッパー”の位置まで移動させ、電源を切ります。

②ビットガイドブラケット固定ネジ2本を緩め、ご使用のビットの軸径に合わせてビット幅を調整します。

※ビットの軸径+0.2mm程度。

③ビットガイド上面の2本の固定ネジを緩め、ネジ頭にあわせてビットガイドの前後位置を調整します。

※ネジ頭部がストッパーとビットガイドの中心になるようにしてください。

④ビットガイド左側の穴の内部にある2本の固定ネジ

を緩めて、ネジリセスにあわせてビットガイドの左右位置を調整します。

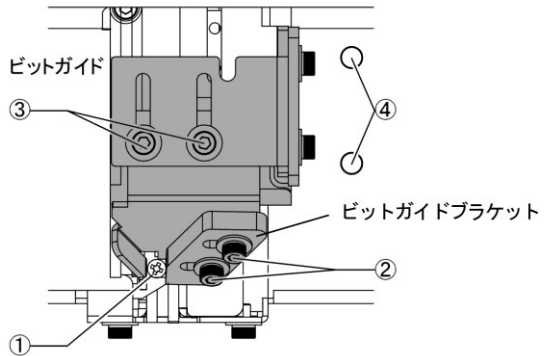
※ビットガイドのビット幅の中心がレールの中心になるようにしてください。

⑤調整終了後、ご使用のビットでスムーズにネジが取出せるか確認してください。

※ビットガイドの位置は、広すぎても、狭すぎても、ネジ取出しに影響します。

※ビットガイドの下辺がレール滑走面に対して水平になるようにしてください。

※スムーズに取出せない場合、ネジ頭部が正しい位置にあるか確認してください。



11) センサーの調整

ネジ頭の形状や大きさが変わる場合、センサーの調整が必要になることがあります。一度動作させ「ネジがストッパー位置にあるのにドラムの回転、レールの振動が止まらない」や「ネジがストッパー位置まで来ていないのにドラムの回転、レールの振動が動作しない」などの症状が発生した場合センサーの調整が必要です。

■ご使用前に

- ①センサー調整をおこなう為、テスターを準備します。まずテスターをセンサーの出力側（テープを剥がすと金属端子があります）とアース（本体下のプレート）につなぎ、電圧値が読み取れるようにテスターを設定します。つないだ後、電源をONにしてください。

※黒茶コネクタを抜くと、振動が止まり調整しやすくなります。

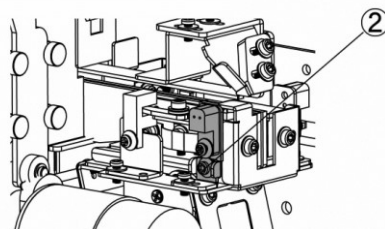
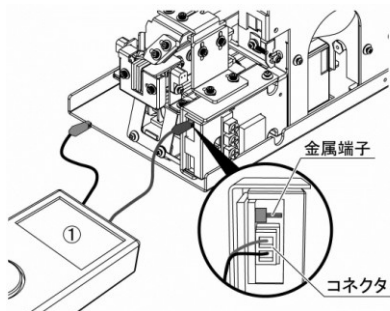
- ②センサーは正面左側のセンサーだけ調整します。センサー調整部の固定ネジを緩めます。

※調整部は六角穴付ボルトで固定しています。

- ③テスターの数値を読み取りながら位置を微調整します。ネジが“ストッパー”の位置にある時 3V 以上、ネジが無い時 0.4V 以下の値になるように調整します。

※設定は多少前後してもセンサーは正常動作しますが、大きく外れると誤作動をおこします。

- ④調整後、センサーが動かないように固定ネジを締めます。



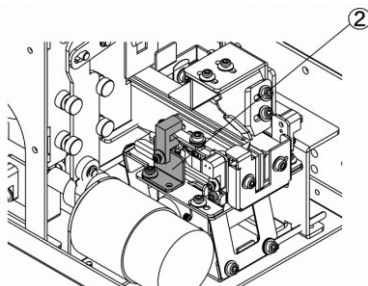
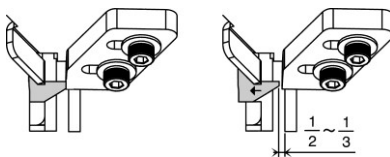
12) F型センサーの調整

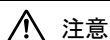
11) センサーの調整同様、ネジ頭の形状や大きさが変わる際は、F型センサーの調整が必要になる場合があります。

- ①“ストッパー”の爪が無動作時には反応せず、爪が $1/2 \sim 1/3$ 動作した時にはセンサーが感知し次の動作に移るように調整します。

- ②調整はセンサーを固定している台座を工具（ラジオペンチなど）で曲げ角度を調整します。

※変形させすぎると台座が破損する場合がありますので注意してください。





注意

● 必ず守る	長時間使用しない時は、電源を切りプラグをコンセントから抜いてください。
● 必ず守る	必ず付属のACアダプタを使用してください。
⊘ 禁止	レール滑走面にホコリや油などを付着させないでください。
⊘ 禁止	適用サイズ以外のネジ、油やゴミなどの付着したネジは使用しないでください。
⊘ 禁止	ネジを取出す時、過剰な力をレールやビットガイドに与えないでください。 破損・本体の正常な運転・動作に悪影響の恐れがあります。
⊘ 禁止	本製品の運転・動作中に、ネジ収納部に指や異物をいれないでください。
⊘ 禁止	レールを挿入していない状態で、電源を入れないでください。
● 必ず守る	運転中に異常が発生した場合、直ちに電源を切りプラグをコンセントから抜いてください。異常のままご使用しますと、思わぬケガ・感電・火災等の事故につながる恐れがあります。

ご使用前の再確認

ご使用前に下記項目を再度ご確認ください。

① 付属のACアダプタが接続されているか。

② 2ヶ所の“LOCK GATE”が適切な位置まで閉じているか。

③ レールユニットの下辺がセンサーブラケットに正しく納まっているか。

調整・確認の全てが終了後、次項の手順でお使いください。

■ 運転

運転

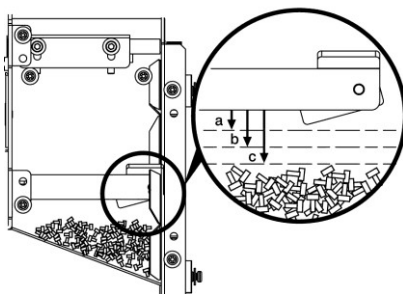
1) ネジを入れる

- ①最初に電源が OFF になっているか確認します。
- ②右図のように、本体の上蓋を開け、ご使用のネジを適量投入します。

※ネジ収納部内のレール下辺に接触しない程度に入れてください。ネジ容量は最大 200cc です。

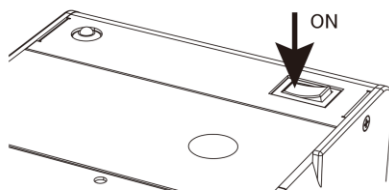
※種類の異なるネジが混入しないようご注意ください。

ネジ部長さ 1 ~ 10mm の場合…a (10mm)
ネジ部長さ 10 ~ 15mm の場合…b (15mm)
ネジ部長さ 15 ~ 20mm の場合…c (20mm)



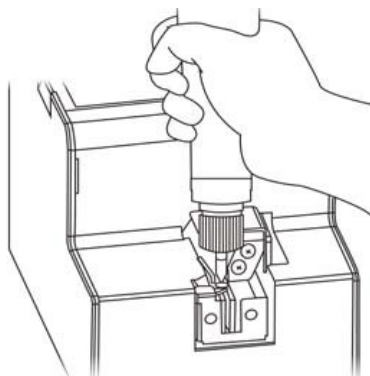
2) 電源を入れる

- ①付属の AC アダプタを、コンセントと本体後側の“DC IN 15V”に接続します。
- ②本体上面の電源スイッチを ON にします。
“ピー”という始動音と共にドラムが回転し、レールの振動が始まります。
レール上をネジが前進し、ストッパーまで流れると一時停止します。



3) 電動ドライバーでネジを取出す

- ①電動ドライバーにご使用のネジにあったビットを装着します。
※ビットは“マグネット入り”をお選びください。
※磁力がないとネジを上手く取出せません。
- ②ビットをビットガイドに沿わせず。
- ③ドライバーを回転させながら垂直に下へ降ろし、ネジ頭部に当たったところで手前に水平に引き出すように取出します。
※電動ドライバーを降ろすときは、必要以上に力を加えないでください。

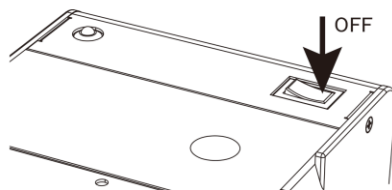


※ビットガイド以外の場所に、ビットが当たらないようご注意ください。

運転停止

1) 電源を切る

- ① 本体上面の電源スイッチをOFFにします。



その他の調整

1) 振動時間調整“VIBRATOR”

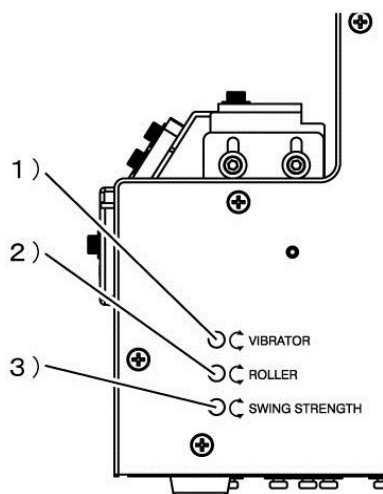
ネジがビットガイドのところまで移動してきてから、振動が停止するまでの時間を設定できます。

2) ドラム回転時間調整“ROLLER”

ネジがビットガイドのところまで移動してきてから、ローラードラムが停止するまでの時間を設定できます。

3) レール振動の強さ調整“SWING STRENGTH”

レール上のネジをネジ送りに適した速度で動かすように強さを設定できます。




その他の機能

1) 詰まり防止機能

本機には、ドラム部分に異物やネジが挟まって動きが止まった時、一時的に逆回転し詰まりを取る機能が付いています。逆回転し詰まりが取れなかった場合、自動停止しエラーランプとブザーで警告します。

■保守・点検

 注意	
● 必ず守る	点検の作業時は電源コネクタを抜いてください。 感電や故障のおそれがあります。
⊘ 禁止	洗剤や溶剤で拭いたりしないでください。 ひび割れ・感電や故障のおそれがあります。
⊘ 禁止	水をかけないでください。 感電や故障のおそれがあります。
● 必ず守る	点検は定期的におこなってください。 点検をおこたると早期故障のおそれがあります。

メンテナンス前には、必ず本体の電源を切り、ACアダプタをとりはずしてください。

メンテナンス前には、ネジ収納部・レール上のネジを全て取出してください。

レールの清掃

ホコリや油などが付着するとネジの滑りが悪くなり、動作不良の原因となります。

適時、レールユニットを本体から抜き出し、ネジが滑走するレール溝にアルコールを含ませた綿棒などで拭いてください。

レールユニットの取外し

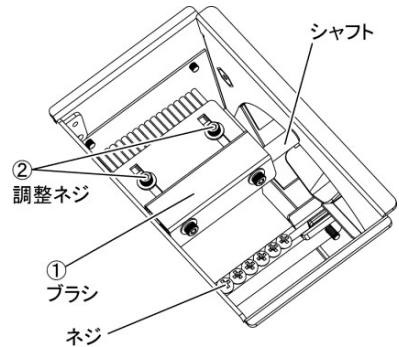
- ①付属のL型六角レンチで、本体上部の“LOCK GATE”のネジを時計回りに回し、内部のゲートを開きます。
- ②同じく本体右側の“LOCK GATE”のネジを時計回りに回し、内部のゲートを開きます。
- ③レール左奥の“レール固定ネジ”を緩めて、本体よりレールユニットを抜き出します。
- ④レール幅の調整をした後、レールユニットを本体へ戻します。
※「レール幅の調整」を参照して、調整してください。
※挿入する前に、全てのネジが正しく締まっているか確認してください。
※挿入後、レールユニットが“センサーブラケット”の上に納まっているか確認してください。
- ⑤“レール固定ネジ”を締めてレールユニットを固定します。
※ストッパー部品のスペーサー(黒色)を忘れずに組み込んでください。
※レールユニットと本体との隙間が左右同じになるよう取付けてください。
- ⑥本体上部と右側の2ヶ所の“LOCK GATE”を反時計回りに回し閉じます。
※振動による接触を防ぐため、完全に閉めずに隙間を 0.2~0.3mm 程度開けてください。

ブラシの交換

適切な調整をしても異常姿勢のネジを除去できない場合は、ブラシの磨耗が考えられます。このような場合は交換が必要です。

ブラシの取外し

- ①電源を入れ、一度ブラシをスイングさせ、“調整ネジ”が上面を向いた状態で電源を切ります。
- ②2つの“調整ネジ”をはずして、ブラシをシャフトから取外します。
- ③新しいブラシと交換し、元の位置に取付けます。
※「ブラシの調整」を参照して、位置を調整し、動作の確認をしてください。



本体の清掃

レールの清掃後、内部回路基板に注意して、本体は常に清潔な状態を保ってください。本体の正常な運転に影響しないよう、本体周辺も一緒に清掃してください。
※一部グリスを使用している部分がありますので、拭きとらないよう注意してください。

部品について

製品の品質及び、機械の正常な運転のため、必ず正規部品を使用してください。

その他

特殊ネジをご使用の場合は、事前にご購入の販売店または弊社にご相談ください。
商品改良の為、仕様・外觀・規格等予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

⚠ 注意	
⊘ 禁止	次のような場合は使用しないでください。火災や感電のおそれがあります。 ・落下や衝撃によって損傷している。 ・コードが傷んだり熱くなったりしている。 ・コンセントへの差し込みがゆるい。
● 電源を切る	異常時には電源スイッチを OFF にし、ACアダプタを抜いてください。
⊘ 分解禁止	分解は絶対におこなわないでください。

不良や異常のままでの使用した場合、製品の故障や事故の原因となります。
修理はご購入の販売店にご相談ください。


■ 異常時の処置

トラブルシューティング

状況	原因	対策
電源スイッチを入れても動かない	ACアダプタが未接続	ACアダプタを接続する
	ネジ収納部内に適量以上のネジが入っている	ネジ収納部内のネジを適量にする
	本体内部にネジや異物が入っている	ネジや異物を取り除く
	AC アダプタ、スイッチ、モーター、回路基板の故障	ご購入の販売店へご相談ください
ネジ収納部内のドラムが回転しない	ネジ収納部内に適量以上のネジが入っている	ネジ収納部内のネジを適量にする
	モーターの故障	ご購入の販売店へご相談ください
ネジが流れてこない	レール幅の調整不良	レール幅を調整しなおす
	異常姿勢のネジがブラシで取り除かれない	ブラシの高さを調整する ネジ頭押さえ板の高さを調整する
	異常姿勢のネジがネジ頭押さえ板に引っかかる	異常姿勢のネジを取り除く ネジ頭押さえ板の高さを調整する
	異常姿勢のネジがレール溝の途中で止まる	異常姿勢のネジを取り除く ネジ頭押さえ板の高さを調整する
	レール振動の調整不良	レール振動の強さ調整 “SWING STRENGTH”を調整する
レールが振動しない	レールと本体の隙間にネジや異物が挟まっている	挟まったネジや異物を除去する ネジや異物が無く振動しない場合は、 ご購入の販売店へご相談ください
	レール振動の調整不良	レール振動の強さ調整 “SWING STRENGTH”を調整する
	振動モーターの故障・不良	ご購入の販売店へご相談ください
ネジの供給が追いつかない	レール振動時間またはドラム回転時間の調整不良	振動時間調整“VIBRATOR” 回転時間調整“ROLLER”を調整する

トラブルシューティング

状況	原因	対策
レール上のネジの異常振動・移動不良	ネジ頭押さえ板の調整不良	ネジ頭押さえ板の高さを調整する
	ネジ滑走面に汚れ又は塵	ネジ滑走面の清掃をする
	レール振動の調整不良	振動時間調整“VIBRATOR” 回転時間調整“ROLLER”を調整する
	ネジや異物がレールや振動モーターに挟まっている	挟まったネジや異物を除去する
	振動モーターの故障	ご購入の販売店へご相談ください
異常姿勢のネジがレール後部に詰まる。	異常姿勢のネジがブラシで除かれない	ブラシの調整をする ブラシの交換をする
	ネジ頭押さえ板の調整不良	ネジ頭押さえ板の高さを調整する
ネジがストッパーまで移動せず止まる	ネジ頭押さえ板の調整不良	ネジ頭押さえ板の高さを調整する
	レール幅の調整不良	レール幅を調整しなおす
	ネジに磁気がある	使用ネジの磁気を除去する
ビットとネジが上手く合わず取出せない	ビットガイドの調整不良	ビットガイドとビットガイドブラケットを調整する
ドラムやレールから異音がする	ネジが固定部に挟まったり接触したりしている	電源を切り、ネジを除去する ホッパーの調整をする
ネジが本体内部に落ちた	ロックゲートを閉じていない	本体を揺すって除去する
		本体カバーを取外して除去する

 注意

⊘ 禁止	<p>次のような場所に保管しないでください。故障のおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本体に著しい振動や衝撃が加わる場所 ・仕様を示された範囲を超える高温多湿な場所 ・結露する場所 ・可燃性の溶剤や粉塵等、引火や爆発のおそれのある場所 ・ホコリ・粉塵・煙が多い場所 ・水・油・薬品等がかかる場所 ・強電界・強磁界が発生する場所

■保証書

お買い上げいただき誠にありがとうございました。

保証期間内に取扱説明書の注意書きに従って正常な状態で使用していて故障した場合には、本書の記載内容に基づいて無償修理いたします。

保証期間内に故障した場合は、お買い上げのご販売店にご依頼ください。

保証期間中でも次のような場合には有償修理となります。

- 1) 誤った使用方法、取り扱い上の不注意によって生じた損傷や故障
- 2) 不当な修理や改造によって生じた損傷や故障
- 3) 火災、地震、水害、落雷その他天災地変、ガス害、塩害、公害や異常電圧などによって生じた損傷や故障
- 4) お買い上げ後の移動や輸送によって生じた損傷や故障
- 5) 本書の紛失、所定事項の未記入または字句を書き換えられた場合

本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

●この保証書は、本製品の故障に対する無償修理または交換を保証するものであって、本製品の使用または使用不能によって生じた損害に対して当社が責任を負うものではありません。

●この保証書は、明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

型式	VSF-5	
保証期間	お買い上げ日より1年間	弊社では製品 S/N にて出荷日の管理をおこなっております。
お客様	お名前	
	ご住所	〒
	電話番号	
販売店	店名/住所/電話番号	

株式会社ベッセル

お客様お問い合わせ窓口(企画開発部)

フリーコール **0120-999-914**

9:00-17:00 ※土・日・祝日は除きます

本社 〒537-0001 大阪市東成区深江北2丁目17番25号 TEL.06-6976-7771 FAX.06-6971-1309
東京支店 〒143-0025 東京都大田区南馬込5丁目43番13号 TEL.03-3766-1831 FAX.03-3776-5607
大阪支店 〒537-0001 大阪市東成区深江北2丁目17番25号 TEL.06-6976-7771 FAX.06-6971-1309
名古屋営業所 〒457-0014 名古屋市中区呼続四丁目3番1号 TEL.052-821-9575 FAX.052-824-4167
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南6丁目1番22号 TEL.092-411-5710 FAX.092-411-5770
札幌出張所 〒065-0011 札幌市東区北11条東14丁目1番1号 TEL.011-711-5003 FAX.011-704-4725
仙台出張所 〒984-0002 仙台市若林区卸町東1丁目2番10号 TEL.022-236-1567 FAX.022-232-7959
広島出張所 〒733-0035 広島市西区南観音7丁目8-11 TEL.082-291-0106 FAX.082-295-1727

<http://www.vessel.co.jp/>

20150715000500